

リーディングDXスクール事業【実践事例】

千葉市立川戸小学校

【取組内容①】 中学校技術科教員などの出張授業におけるプログラミング学習の取組



①小中一貫教育校であるため、中学校の技術科教員が小学3年から6年までの全学級においてクラウド上のプログラミングソフトを使用したプログラミング学習の出張授業を実施した。ICT支援員による支援も継続して行っていた。

②作成した作品は、共有できるように共有ドライブ内にフォルダを作った。ここで互いの作品を見あったり、自作したゲームを提出したりすることでプログラミングの能力を高めていった。

③クラウド上のプログラミングソフトを通して、プログラミングの仕組みを理解することができたので、それをロボット型教材にも応用させ、各自が端末を使ってプログラミングを行い、自分が指示したとおりにロボットを動かすことができるようになった。

【成果】 中学校の技術科の教員が専門的な立場から学年ごとに系統立てたプログラミングの授業を行ったことで、プログラミングに関する興味・関心が高まっただけでなく、スキルの向上にもつなげることができた。そのため、休み時間や放課後などに自主的にクラウド上のプログラミングソフトでゲームを作成する児童も見られた。